

第 196 号 内容紹介

1. 傅大為（フ タイイ）「台湾反戦行動の歴史と挑戦」

「日本当局や皆様は兩岸の和解と統一を考えたことがあるだろうか。実はかなりの台湾人はこの可能性に反対してはいない」。もう一つの「台湾有事」を展望する台湾知識人の訴え。

2. 大久保賢一「検証・高市早苗氏と麻生太郎氏」

「自分は戦後生まれだから、戦争責任など問われる立場にない」と公言した新首相。「憲法改正はナチスの手法に学べ」と発言した副総裁。新政権の危険な本質を資料で振り返る。

3. 有識者の会「米はベネズエラ・コロンビア攻撃をするな」

南カリブ海での軍事行動を拡大するトランプ米政権。数週間以内に、ベネズエラ領内に侵攻し、マドゥーロ合法政権の体制転換を図ることが決定されたといわれる。ベネズエラの主権を守る有識者たちの緊急声明。

4. 非同盟諸国運動（NAM）のベネズエラ情勢での特別声明

アメリカによる脅迫について、10月中旬ウガンダで開かれた NAM 中間閣僚会議が採択。

5. G・ペドロ「ガザの残虐行為は人類全体に降りかかる」

コロンビア大統領の国連総会での演説。

その他の記事は「AALA ニュース編集日記」で参照できます ([aala_news の編集日記 \(livedoon a 愛用紹介 r.jp\)](https://livedoon.aala-news.jp/))